

鳴りますか？

住宅用火災警報器

交換目安は10年です！

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなるおそれがあります。

設置年月を確認し、設置から10年を目安に本体の交換をしましょう！

check!!

住宅用火災警報器の点検方法

本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検できます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



または



※一般的に点検の際の音声等は自動で停止します。

住宅用火災警報器の購入方法

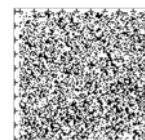
ホームセンターや家電量販店、防火設備取扱店などで購入できます。

悪質な訪問販売等に注意しましょう。

消防職員が住宅用火災警報器を販売することはありません。

万が一、悪質販売の被害にあってしまったら、クーリングオフ制度を活用して解約することができます。詳しくは、区市町村の消費者生活相談センターにご相談ください。

注意!



住宅用火災警報器の取り付け場所は？



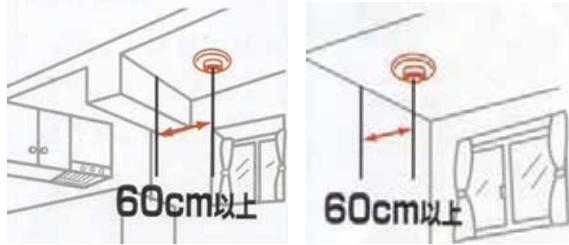
居間、リビング、子供部屋、寝室などの各居室と階段、台所の天井または壁に設置が必要です。
(浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まれません。)
自動火災報知設備やスプリンクラー設備が設置されている部屋等は、設置の必要はありません。

住宅用火災警報器の取り付け位置は？



● 天井に取り付ける場合

壁やはりから60cm以上離れた、天井の中央付近に取り付けます。
(熱式の場合は、40cm以上)



《ここに注意！！》

- ▶ エアコンの吹き出し口や換気口などの位置から、1.5m以上離しましょう。
- ▶ ストープなどの熱または煙の影響を受けない位置にしましょう。

● 壁に取り付ける場合

天井から15cm以上50cm以内の位置に住宅用火災警報器の中心がくるように取り付けます。30㎡以上の台所の壁に取り付ける場合は、煙式の住宅用火災警報器とします。



ご注意ください

住宅用火災警報器の機種によって、取り付けの注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ず確認してください。

取り付けは、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を安全に行ってください。

ご相談・お問合せは、最寄りの消防署へ

ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

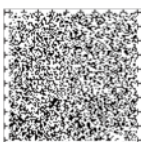
東京消防

検索



※ 区市町村によっては、住宅用防災機器等の給付または助成事業を実施している場合があります。詳しくは区市町村の各担当課へお問合せください。

東京消防庁 防災部 防災安全課 生活安全係 住宅防火対策担当 TEL 03-3212-2111(内線4196)



本チラシは、目の不自由な方へ情報提供できるよう視覚障害者用音声コードと位置認識のための切込みを入れています。専用読み取り機によりコードの読み取りをすると、音声に変換され、文書内容が読み上げられます。

※ 専用読み取り機の給付等については、区市町村の障害福祉担当課へお問合せください。



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。